

報道関係各位

—「茶の湯の工芸」をテーマとした、栃木の伝統工芸と現代工芸作家の作品展示会—
栃木の伝統工芸とひなまつり

栃木県の伝統工芸とつるし雛、九尾の狐の伝説が一体

特定非営利活動法人アート・ビオトープは、平成22年4月16日から5月9日まで、「茶の湯の工芸」をテーマとして、栃木の伝統工芸と現代工芸作家の作品を展示する「特別展 見立て劇場 エクストラヴァガンツァ」を二期倶楽部本館ホールにて開催致します。

この展示会は、竹芸家・八木澤正氏をはじめとする栃木県の優れた伝統工芸作家の作品と、活躍中の現代工芸作家の作品とのコラボレーションを通じて、茶の湯における工芸の世界を紹介することを目的としています。会期中は小品から大作まで、およそ300点の作品を展示致します。

また、4月16日は旧暦の3月3日に当たることから、古の人々が上巳の日(3月3日)に水辺に遊んだ故事にちなみ、16日・17日の2日間、二期倶楽部で立礼茶会「野に遊ぶ」が開催されます。そこでは、特別展示として栃木県に伝わるつるし雛およそ150点を庭内に展示致します。さらに4月17日には庭内を流れる川のほとりで、那須で討たれて殺生石となった玉藻前、白面金毛九尾の狐の伝説にちなむ、狐面をつけた子どもたちによる「那須九尾子狐太鼓」も披露されます。

旧暦の3月3日の日に、自然豊かな那須の地で、栃木県の伝統工芸とつるし雛、九尾の狐の伝説とが一体となって作り出す、古と現代とを結び合わせる優美な世界をどうぞご高覧賜りますよう、ご案内申し上げます。

企画展名：「特別展 見立て劇場 エクストラヴァガンツァ」

日時：4月16日(金)－5月9日(日) 10:00－17:00 入場無料

場所：にき倶楽部1986 ホール

住所：栃木県那須郡那須町高久乙道下2301

後援：大田原市

協力：栃木県竹芸協会、下野手仕事会、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科研究室

※つるし雛は一つの輪にそれぞれ7つの雛をつけた7本の紐をつるして飾る栃木県伝統の雛飾りで、飾り物の一つ一つには子どもの健やかな成長を願う意味が込められています。今回の展示には栃木市在住のつるし雛研究家、高田スエ子先生のご協力を頂きました。

■ 本資料に関する報道機関からのお問い合わせ

広報窓口：片山亜香梨 (a-katayama@nikiresort.jp)

住所：東京都渋谷区大山町45-18 Tel:03-3466-5818/Fax:03-3466-5902